努力点だより

令和８年１月７日
３学期も頑張るぞ号
名古屋市立大森中学校

目標を立て、自ら考え行動し、振り返ることができるようになろう！

― ２学期の「経験」を、３学期の「自信」へ変える ―

■ ２学期の足跡：響き合い、高め合った「特別活動」

２学期、大森中学校には生徒たちの熱気と活気があふれていました。稲武野外学習、体育大会、文化発表会、そして日々の委員会活動や部活動。全校生徒が共通して経験したことは、「一人では決して到達できない場所へ、仲間となら行ける」という実感だったのではないでしょうか。特別活動を通じて、皆さんは以下の三つの大きな「足跡」を残しました。

「対話」による合意形成：意見がぶつかったとき、逃げずに話し合い、納得できる着地点を見つける力がつきました。

「役割」への責任感：表舞台に立つ人も、裏方で支える人も、それぞれが「自分の役割」を全うすることで、大きな力が生まれることを証明しました。

「挑戦」する勇気：失敗を恐れず、新しいアイデアを形にしようとする試行錯誤こそが、大森中学校の新しい活気となりました。

行事のあとの皆さんの表情は、１学期よりもずっとたくましく、自信に満ちあふれていました。この「目に見えない成長」こそが、２学期の最大の収穫だと思います。

■ ３学期へのエール：学年ごとの「一歩」を大切に

３学期は「１年のまとめ」であり、「次への準備」の期間です。全校生徒へ、それぞれの立ち位置に合わせたエールを送ります。

【１年生】「支えられる側」から「支える側」への準備を

中学校生活に慣れ、クラスの絆も深まりました。３学期は、４月に入学してくる後輩たちの「憧れの先輩」になれるよう、日常の質を高めていきましょう。

【2年生】 学校の「中心」としてバトンを受け取る

生徒会や部活動のリーダーシップは、いよいよ皆さんの世代へ。これまでの伝統に、自分たちらしいスパイスを加え、新しい学校のカラーを創り出してください。

【3年生】 義務教育の「集大成」を背中で示す

卒業までの日々、その一挙手一投足が後輩たちの指標となります。進路に向き合いながらも、仲間と過ごす一秒一秒を大切にし、感謝を形にする学期にしてください。

■ 結びに：特別活動は「生きる力」の源

特別活動は、単なるイベントではありません。社会に出たときに必要となる「正解のない問いに立ち向かう力」を育む大切な時間です。学校は、知識だけでなく、仲間と共にこのような力を身に付けられる大切な場所です。

３学期、皆さんが今のクラス・今の仲間と過ごす最後の時間を、最高のものにするために。先生たちは、皆さんの主体的な活動を全力でバックアップします。

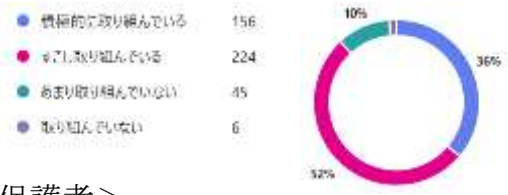
（文責：朝倉健志朗）

大森中の生徒や保護者のみなさんが大森中学校の努力点に伴う取り組みについて、特別活動と学習の面についてどのように捉えているかを学校アンケートから紹介します。　　（文責：竹村詩子）

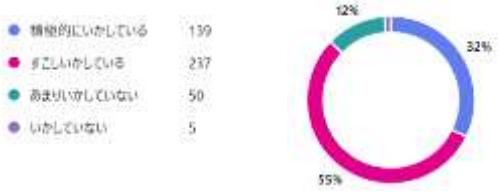
①　特別活動（学校・学年行事）について

＜生徒＞

目標を立て、その目標を実現しようと取り組んでいる

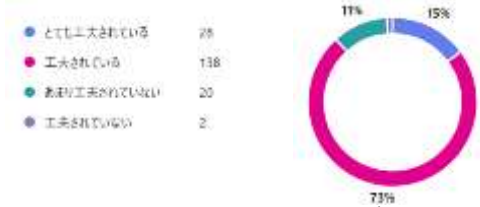


取り組んだ後に振り返り、次にいかすことができる



＜保護者＞

学校行事では、目標や見通しをもって取り組むことができるよう工夫されている

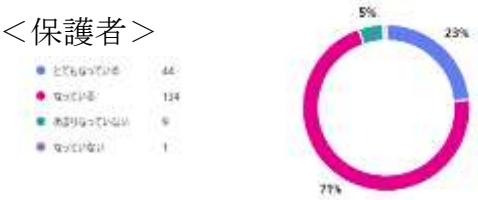


○　学校行事を通して、成長することができている

＜生徒＞



＜保護者＞



今年度から学校行事においても「振り返り」だけではなく、「目標立て」と「振り返り」に取り組むようになりました。９割に近い生徒のみなさんが、目標の実現を目ざしながら行事に取り組み、振り返りを次回の取り組みに生かそうとしていることが分かりました。また、生徒のみなさんのその姿から保護者のみなさんにも取り組みが伝わっています。これからも、行事にただ取り組むのではなく、引き続き目標を立て、振り返りながら進めていくことで、目標を達成する喜びを味わえるようにしていきましょう。

②　学習について

＜生徒＞

目標を立て、その目標を実現しようと取り組んでいる



取り組んだ後に振り返り、次にいかすことができる



＜保護者＞

授業では、目標や見通しをもって取り組むことができるよう工夫されている



学校アンケートより、８割以上のみなさんが学習において、「目標を立て実現しようとしている」ことや「振り返り、それらを次回に生かそうとしている」としていることが分かりました。しかし、特別活動と比べると、「あまり取り組んでいない」「取り組んでいない」と回答した割合が高いことも分かりました。また、保護者のみなさんも同様の結果です。学習だからと難しく考えすぎていませんか。特別活動で実践できているみなさんなら、学習でも実践できるでしょう。一つひとつの積み重ねが実力になります。まずは、ちょっと背伸びしたら手が届きそうな目標を設定してみましょう。そして、考えて行動し、目標を達成し続けることで自信や成長につなげていきたいですね。